

千変万化のきらめき

嵐山、そして水のある風景

京都市西部に位置する嵐山一帯は、風光明媚な観光地として親しまれています。かつては丹波の材木を京の都に運ぶ筏流しが桂川で見られ、嵐山の自然と人との四季折々の姿は、多くの画家を魅了しました。今回の展覧会では、サイトウミュージアムのコレクションの中から嵐山を題材した日本画や洋画作品をご紹介します。嵐山の情景にちなんで、海や湖などを描いた風景画を合わせて展示いたします。暮らしに欠かせない水と人との関係が織りなす風景、そして季節や天候、時間によってさまざまな変化を見せる水の表情は、無常と永遠とを同時に感じさせる魅力の尽きない題材となっています。

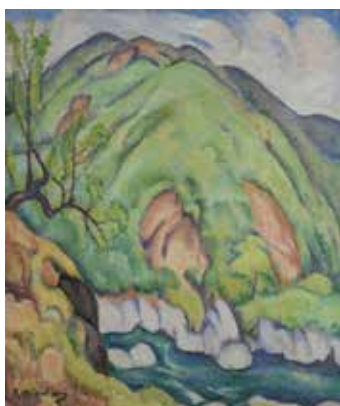
川村曼舟《風峡秋色図》制作年不詳 絹本着色



鹿子木孟郎《セーナ河畔》1907年 油彩・キャンヴァスボード



笠木治郎吉《漁師の娘》明治後期 水彩・紙



滝谷国四郎《風景》1919年頃 油彩・キャンヴァス



山下新太郎《嵐山》制作年不詳 油彩・板



川村清雄《海辺風景》制作年不詳 油彩・板

■会期中のイベント（入館チケットが必要です）

◎学藝員によるミュージアム・トーク

2024年3月10日（日）

2024年5月4日（土）

いずれも午後2時から約30分、事前申込不要。

◎学藝員による絵画のお話スライド・トーク

展示室にて絵画のよもやま話に花を咲かせます。

2024年4月14日（日）⑦水を描いた名作選

2024年6月8日（土）⑧絵画材料学 顔料と接着剤

いずれも午後2時から約40分、事前申込不要。

詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

■友の会入会のお誘い

お申し込みの日から1年間、何度でも鑑賞いただけます。小冊子は展覧会ごとに1冊進呈。お一人様年会費2千円。ご入会、ご継続時にお好きなポストカードを1枚進呈します。

■次回展覧会予告

「題名のない絵画展（仮題）」

2024年7月26日（金）— 10月27日（日）

サイトウミュージアム

<https://www.matsusaka-saito-museum.com/>

